

## MJIIT留学記 十四週目 JAPAN DAY

2015年12月20日

マレーシアに来て十四週目、期末試験を控え、大学はStudy weekに入った。つまりは試験勉強のための期間なのだが、学生は帰省したり旅行に出かけたりと、気分としては一週間だけの冬休みに近い。

今週の土曜日にはMJIIITの一大イベント、JAPAN DAYというものがあった。趣旨は近隣住民や他大学の学生達を招いて日本文化に親しもうというもので、例えるならMJIIITの学祭だ。MJIIITの学生たちはクラスごとに多くの出店やコンテスト、研究室では研究成果の発表を行った。また当日は日本文化紹介のために多くの日本人ボランティア、青年海外協力隊、JICAスタッフの方達が集まって下さり、その中にはマレーシア在住だという人も多かった。

見た感じ訪問客は800人程おり、近隣住民や他大学からも人が来て中々盛況だった。出店をしていたクラスメイト達は一週間前から準備を始めたらしい。筑波大では準備のために半年前から書類提出や衛生面での指導など多くの手続きが必要だが、規模の違いと衛生的な手続きが日本ほど厳しくないためこれほど短期間で準備が整うのだろう。

紹介されていた日本文化はボランティアブースでは書道、着物の着付け、折り紙、寿司や剣道、学生ブースではたこ焼きやお好み焼き、どら焼きやヨーヨー釣り、相撲コンテストが行われており、日本は本当に特色豊かな国であると今更ながら実感した。

自分は折り紙ブースのボランティアとして参加し、現地学生と一緒に本を読みながら訪れてくれた子供たちと一緒に楽しんだ。また折り紙が趣味だという近所の方から逆に折り紙を教わり、日本文化の広がり、彼らとの交流を楽しんだ。このような素晴らしいJAPAN DAYを準備してくれた学生達やボランティア、先生方のご協力に感謝したい。小倉

